2020 年 4 月 1 日

「大腸癌肺転移に対する肺切除の有効性に関する検討」

１．研究の対象

当センターで 2005 年から 2013 年に大腸癌 StageⅣに対して治療を開始された方

２．研究目的・方法

「目的」大腸癌肺転移に対する肺切除の有効性を検討するため

「方法」対象患者さんの手術後の予後調査を行う

「研究期間」2019 年 10 月から 2021 年 3 月

３．研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、原発部位、進行度、病理所見、血液検査所見、肺転移個数、肺転移に対する手術、他の臓器への転移の有無、治療内容、生存期間、治療内容、術式、再発の有無　等

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター　呼吸器外科

研究責任者：医員　池　晃弘

電話　06-6692-1201　内線　7225